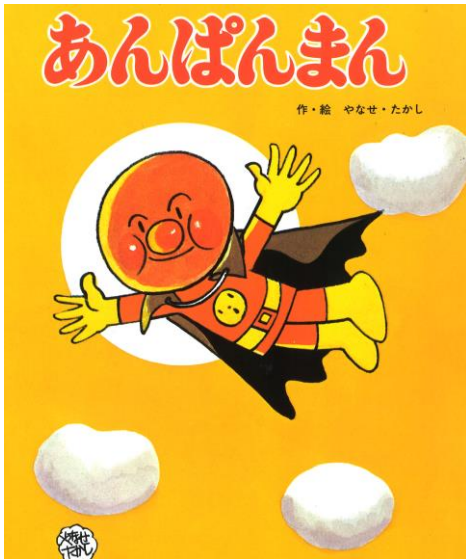


若浜の子ども



令和元年10月10日 第5号

「あんぱんまん」のころ



9月の「いのちの日」の校長講話で「アンパンマン」を取り上げました。(いつもの校長講話よりもだいぶ受けが良かったらしく、低学年の子どもたちが家に帰ってから話題にしてくれたようです。^^)

アンパンマンは、若浜小学校が今年度めざしている「思いやり」と「正義」を実行しているアニメキャラクターです。アニメでアンパンマンに敵対するのは「バイキンマン」ですが、実はアンパンマンがデビューしたときは、バイキンマンはいませんでした。それどころか「ジャムおじさん」という名前もなく、ただの「おじさん」でした。さらに極めつけな

のは「アンパンマン」ではなく、ひらがなの「あんぱんまん」でした。1976年5月に発刊されたこの本の中の「あんぱんまん」は、飢えた人を自分の顔を食べさせて助けるというヒーローです。

この「あんぱんまん」の巻末に作者のやなせたかしさんは次のような文章を書かれています。

あんぱんまんについて

やなせ・たかし

子どもたちとおなじに、ほくもスーパーマンや仮面ものが大好きなのですが、いつもふしぎにおもうのは、大格闘しても着ているものが破れないし汚れない、たれのためにたたかっているのか、よくわからないということです。

ほんとうの正義というものは、けっしてかっこうのいいものではないし、そして、そのためにかならず自分も深く傷つくものです。……(中略)……

あんぱんまんは、やげこげだらけのボロボロの、こげ茶色のマントを着て、ひっそりと、はずか

そうに笑っているのです。

さて、こんな、あんぱんまんを子どもたちは、好きになってくれるでしょうか。それとも、やはり、テレビの人気者のほうがいいですか。

作者のやなせたかしさんは、1919年（大正8年）生まれで、日中戦争に出征。部隊では主に暗号の作成・解読を担当、職種が戦闘を担当するものではなかったため、一度も敵に向かって銃を撃つことはなかったといえます。しかし、太平洋戦争で弟が特攻隊に志願し、戦死しています。

自慢の弟を戦争で奪われ、正義と信じて戦った戦争に負け、自分が信じていた正義が悪に逆転しました。この戦争体験がやなせさんに「逆転しない正義」である「献身と愛」をテーマに、「あんぱんまん」をはじめとする創作活動に取り組ませることになったようです。

そうだ！嬉しいんだ生きる喜び たとえ胸の傷が痛んでも
何の為に生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ！
今を生きることで 熱いところ燃える だから君は行くんだ微笑んで。
そうだ！嬉しいんだ生きる喜び たとえ胸の傷が痛んでも。
嗚呼アンパンマン優しい君は 行け！皆の夢守る為 （「アンパンマンのマーチ」より）

やなせたかしさんが「あんぱんまん」に託した、みんなの「生きる喜び」につながる「思いやり」と「正義」を、若浜小学校の一人一人が「あんぱんまん」になって広げていきたいですね。

フォルクローレしてIkeIke！

9月27日（金）岡田浩安さん、智詠（ちえい）さん、熊本比呂志さん、桑原健一さん4人によるフォルクローレのコンサートが本校で開催されました。地域の方も60名ほどおいでいただき、約400名が、アコースティックなどこか懐かしさを感じる楽器の音色にどっぷり浸りました。

コンサートが終了してから、メンバーの方々から「**若浜小学校の子どもはノリがいいですね。**」と



のお声をいただきました。「コンドルは飛んでいく」のような静かな曲のときにはシーンと聞き、「パプリカ」のようなアップテンポの曲では体でリズムをとりながら、手拍子をして耳と体で音楽を楽しみました。

リーダーの岡田浩安さんの演奏は、facebook や Youtube にアップされています。検索してみてください。

若浜小学校JRC(青少年赤十字)



10月2日(水)は若浜JRC振り返り集会の日でした。担当の高山先生が、「若浜JRCは、だれもがもっているやさしい気持ちを、お友だちやほかの人たちにあげることです。やさしい気持ちを持っていても、それをだれかのために使わないと何にもなりません。自分で気がついたことや良いと思ったことはどんどんしてみましょう。先生や

おうちの人に言われたからするのではなく、自分で考えてするのが大切なことです。」との基本的考えを示したのち、子ども達の「それってJRCだね」と言える心優しい行為の発表を行いました。

小松翔太君へ

よわっていた生き物をやさしく、エサのたくさんあるところにかえしてあげていたので、ぼくもまねしてたくさん命をたすけてあげたいです。

小松昌継君より



庄司百希さんへ

登校班で1年生がおそいときはまっててくれたり、歩いているとちゅうに歩くスピードをみんなに合わせてくれます。

佐藤杏夏さんより



小林虎心君へ

よしだひなたさんが給食当番をいっしょにやる人がいなかったときに、「ぼく、配りだから手伝ってあげる」と言っていてすてきでした。

岡部ひかりさんより



佐藤誠司郎君へ

四時間目のテスト返しの時に、わからない人に一生けん命教えていたので、JRCだなと思いました。

今野快智君より



若っ子の活躍



第55回酒田創意くふう展

- 特選 さくらんぼテレビ社長賞 6年 佐藤 誠司郎
- 特選 山形テレビ社長賞 3年 三川 幹人
- 入選 4年 北野 芭南 1年 神足 翔真
- 佳作 6年 佐藤 釉月 5年 堀田 煌貴 伊藤 幹人 鈴木 峻太
4年 佐藤謙司郎 高橋 希晏 伊藤 梓 3年 長谷部 紘夢 芝田 朱里
2年 伊藤 樹希 吉田 晴光 小幡 美天

第31回防犯広報作品コンクール

- 防犯ポスター 小学生の部 2年 新野 晋矢

酒田地区青少年読書感想文コンクール

- 入選 6年 堀 香月 斎藤 藍 5年 齋藤 生冴 青山 大洋
4年 住石 帆花 鈴木 瑛士 3年 三浦 絢葉 富樫 琴
2年 鈴木亜花璃 阿部 るな 1年 池田 夏穂 五十嵐 美緒

第40回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部バレーボール大会8月25日

- 優勝 若浜バレーボールスポーツ少年団

第23回コマツ・コーポレーション杯争奪学童新人軟式野球大会9月1日

- 準優勝 CJヤンキース

第17回東北学童軟式野球新人大会山形県予選会 9月15日

- 準優勝 CJヤンキース

第39回酒田市川北地区野球大会 9月22日

- 優秀選手賞 5年 加賀屋 壱成

山形県少年少女スポーツ交流大会 卓球競技 9月28日

- 女子団体 Cブロック 第一位 若浜卓球スポーツ少年団
- 女子団体 Aブロック 第三位 若浜卓球スポーツ少年団

第39回庄内町招待小学生バレーボール大会 9月29日

- 優勝 若浜バレーボールスポーツ少年団

山形県少年少女スポーツ交流大会 バレーボール競技 10月6日

- 少女の部 Fブロック 第一位 若浜バレーボールスポーツ少年団

山形県少年少女スポーツ交流大会 サッカー競技 10月6日

- 第二位 若浜サッカースポーツ少年団

山形県少年少女スポーツ交流大会 ミニバスケットボール競技 10月6日

- 少年の部 第二位 若浜ミニバスケットボールスポーツ少年団